

		そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	改善目標、工夫している点など	
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である。	2	3	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な特性のあるこども同士が一つのスペースで過ごすことが困難な場合もあり、別室や仕切りなどがあればよい。 ・人数も増え、子どもたちの成長もあって、スペースが狭くなってきている。必要に応じ、広場や別室を使うなどの工夫をしている。 ・広場もあり活動スペースも多い ・活動によっては狭いと感じるときがあ。グループに分け、屋外で遊ぶなどして対応している。 ・個々に落ち着ける場所が欲しい。
	2	職員の配置数は適切である。	5	3	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・学生アルバイトへの指導が必要だと感じる。 ・職員1日7～8名の体制で支援している。 ・手厚く対応できていると思うが、ひとりで自由に遊ぶ時間も確保していきたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切にされている。	0	0	4	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・段差があるところなどをしっかり伝えるまたは介助している。訓練室までの段差があり、また手すりも不設置。数年後に建て替えが出来るように計画している。 ・体幹の弱い子どもには職員がつくなどして対応している。 ・靴を履くところに階段があり危ないので改善する必要あり。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している。	4	3	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・話しやすい環境でよく話せている。明確に設定すべきところはしっかり行っていきたい。
	5	保護者向けアンケート調査を実施して、保護者等の意向等を把握し、業務改善に努めている。	1	2	1	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度実施。 ・連絡帳のやり取りなどを丁寧に行っている。
	6	この自己評価表の結果を、事業所の会報やHP等で公開している。	2	0	1	2	3	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の自己評価より公表していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	1	2	0	2	3	<ul style="list-style-type: none"> ・外部評価についての仕組みづくりについて検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している。	5	3	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・外部の研修に参加したり、内部研修を行っている。研修計画に基づく研修が行えるようにしていく。 ・学生のバイト向けにも研修を行っている。 ・職員と学生バイトと一緒に研修を受けている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成している。	6	1	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの観察・保護者との面談・ケース会議で話し合いを持ったうえで支援計画を作成している。 ・保護者のニーズがわかりにくい家庭もあるので配慮していきたい。 ・保護者の面談やケース会議を行い支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している。	1	3	0	0	4	<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始時に、ご家族より聞き取りを行っている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている。	4	3	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の活動プログラムは週ごとに担当を決め、職員間で相談しあっている。 ・意見を出し合いながら決めている。 ・職員でいろいろな案を出しプログラムを作っている。
	12	活動プログラムが固定化しないように工夫している。	5	3	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・季節に応じた活動を心がけ、室内・外・静・動のバランスを取り、子どもたちの力を引き出すような取り組みを行っている。 ・プログラムの立案担当者を週毎ごとに行っているため、いろいろな活動ができています。 ・職員でいろいろな案を出しプログラムを作っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している。	3	4	0	0	1	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成している。	8	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の反省会などから意見を聞き対応している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。	5	2	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・学生バイトには送迎の都合で打ち合わせができない時がある。ボードなどを活用したい。 ・職員間の打ち合わせや学生などもその日の予定を確認している。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している。	8	0	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・反省会にて、一日の振り返りを行うことで、職員間の共有を図っている。 ・学生バイトへの指導の場にもなっている。 ・よく話せていると思う。 ・反省会で意見を聞き、気づいた点などは職員・学生ともに共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証、改善につなげている。	5	3	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・業務日報及び個人記録を毎回つけている。 ・個人記録には細かく記録を書いている。
	18	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している。	3	4	0	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・反省会や記録から支援方法を検討し支援の見直しを行っている。 ・半年に一度はモニタリングを行い、ケース会議を実施し、支援計画に反映している。
	19	自立支援と日常生活の充実のための活動や、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供などを複数組み合わせ合わせて支援を行っている。	4	2	1	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の中で、係を担うことで自立支援につなげている。行事や普段の周辺散歩等で地域と交流する機会を持っている。 ・個別のプログラムも充実させていきたい。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画している。	6	1	0	0	0	1	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換・子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応・トラブル発生時の連絡)を適切に行っている。	4	3	1	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だけではなく保護者からの情報共有も密に行っている。 ・学校の先生も多忙だと思いが積極的に話しをしていきたい。 ・送迎時に先生との確認や電話での確認をしている。
	22	就学前に利用していた保育園や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	3	2	0	1	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ケースに応じて行っている。
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している。	2	2	0	0	0	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ケースに応じて行っている。
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている。	3	4	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて連携を図っている。
	25	障害のない子どもと活動する機会がある。	7	1	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館と同じ敷地にあり、広場を共有している。 ・児童館が併設であるのはとてもいい環境だと思う。 ・児童館の子どもたちと遊ぶ機会を作っている。
	26	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	2	0	0	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・児童部会・地域懇談会等へ参加している。
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解をもっている	4	3	1	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時や連絡帳にて伝えあっている。 ・保護者との関係づくりを行い、子どもたちの課題や状況を伝えている。
保護者への説明	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている。	1	0	5	1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・面談時や普段のやり取りの中で、困っていることがあれば、一緒に考えたり、助言をしたりしている。
	29	運営規定・支援の内容・利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	4	1	0	1	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に時間をかけて説明を行っている。
	30	保護者からの子育ての悩み等の相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	6	1	0	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・相談があれば応じるだけでなく、気になる利用者の方にはこちらから話を伺うようにしている。 ・相談されたことに対して、適切な支援につなげていきたい。 ・相談にのったり、関係機関と連絡をとり支援している。
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している。	0	0	2	4	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度より予定している。 ・保護者同士の交流はなかなかできていないように思う。
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している。	6	1	0	0	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情受付の窓口を設置し、契約時に伝えている。苦情だけでなく、保護者から要望等についても、丁寧な対応を心掛けている。 ・要望に応じて丁寧な対応をするように心がけている。 ・苦情の内容を職員で共有し、その後の対応を考えている。

員 任 等	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。	7	0	0	1	0	・ブログを利用し、日々の様子を伝えている。予定についてはメールで配信を行っている。
	34	個人情報に十分注意している。	7	1	0	0	0	
	35	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	5	3	0	0	0	
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	6	2	0	0	0	・ひこばえまつりを行い、地域との交流を図っている。 ・ひこばえカフェの新設により、より開かれていくと思われる。
非 常 時 の 対 応	37	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	3	1	0	1	・マニュアルは作成しているが、保護者への周知は行っていない。 ・見えやすい工夫が必要。
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている。	6	2	0	0	0	・年2～3回の避難訓練を行っている。 ・放課後くらぶだけでなく、同敷地ある児童館と合同で行っている。
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	6	2	0	0	0	・外部研修および内部研修も行っている。
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで、個別支援計画に記載している	7	1	0	0	0	
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	2	1	0	0	5	・食事提供はなく、母親から聞き取った内容で対応している。
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	1	2	1	1	3	・事例集はないが、情報を共有し対策を話し合っている。リスクマネジメントについては早急に取り組むべきと考えている。